

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2018

6月号  
vol.623

月刊

# 周友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

中小企業が変われば社会は変わる  
（これからの時代を創るソーシャルビジネス）

21世紀型  
自立型  
企業づくり

経営指針書で自立型企业宣言!

眞鍋 志郎 氏 [株式会社サンビニール]

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと



AR動画が見られます!

ARアプリ「COCOAR2」のダウンロード方法は  
P2をご覧ください

# 福岡同友会へ Message

独立行政法人中小企業基盤整備機構  
九州本部 本部長

やまお よしひこ  
**山地 禎比古 氏**



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、日頃より福岡県内中小企業の振興・発展のためにご尽力されておられることに深く敬意を表するとともに、国の中小企業施策実施機関として深く感謝を申し上げます。

さて、中小企業数は直近の5年間で40万社減少しており、しかも、経営者の高齢化、後継者の不在等、事業承継問題を抱える中小企業が増えています。

加えて、中小企業の生産性（従業員1人当たり付加価値額）は伸び悩み、大企業との格差は拡大しており、また、人手不足感も年々強まっています。

一方で、福岡県は、自動車産業や半導体産業等先進的なものづくりが盛んであり、また、食品産業や観光産業も発展しているなど、地域としてのポテンシャルは高く、中小企業の成長発展の可能性を秘めています。こうした中、「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」づくりを目指し活動されている一般社団法人福岡県中小企業家同友会の役割は益々重要になっていくと思われる。

当中小機構におきましても、中小企業の生産性の向上が図られるよう、新商品・新サービス開発や大都市・海外への販路開拓など売上拡大に資する支援、IT活用、人材育成など効率化に資する支援を引き続き行ってまいります。

一般社団法人福岡県中小企業家同友会の皆様方には、1社でも多くの中小企業が成長発展できるよう、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友6月号 自立型企業づくり  
はみだしレポート

東支部の  
相談窓口110番



株式会社さきねや  
代表取締役  
明石 勝善 (東支部支部長)

同友会は「同じ友の会」つまりみな平等といわれますが、三役ともなると、やはり支部をまとめるリーダーシップが求められます。

眞鍋さんは支部全体を見ており、支部のまとめ役で、まさに『縁の下の力持ち』。役員はもちろん会員さんから絶大な信頼を受けています。

懇親会では一滴もお酒を飲まず、わがままな(?)会員さんお話をしっかり聞いてくれます。



株式会社  
サンビニール  
代表取締役  
眞鍋 志郎 氏  
(東支部)

本誌p7 掲載

「困ったときは眞鍋さん!!」  
東支部の相談窓口110番なのです。  
頼りにしています!眞鍋さん!!

## 2018年度 中小企業憲章・条例推進月間学習会

# 下町 町工場の挑戦!

～地域と共に歩む中小企業～

報告者 株式会社 浜野製作所 代表取締役 浜野 慶一氏

2010年6月に中小企業憲章が制定されて8年。福岡県及び各市町村でも、中小企業振興基本条例が制定され、条例に基づき施策が実施され始めました。今回は、メディアからも注目されている株式会社浜野製作所の浜野さんに、墨田区で行政、大学、金融機関、そして小学生から大人まで地域の人々を自然と巻き込み、仕事をつくり人を育て、ものづくりの魅力を発信されている体験を報告していただきます。世界から若者が来なくなる企業、地域を活性化させる企業として、未来に向けて自社をどう変革させるか、共に考えてみましょう。

(株)浜野製作所  
代表取締役  
浜野 慶一氏  
(東京同友会 会員)



参加費無料

日時 6月12日(火)  
2018年

開会 14:30 / 閉会 18:00  
終了後、懇親会(懇親会参加費 約4,000円)

会場 福岡県中小企業振興センター  
2階202会議室  
福岡市博多区吉塚本町9-15  
☎092-622-0011

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすとAR動画が見れます!

①ARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード(無料)  
App Store Google Play Store

COCOAR2 検索

②「COCOAR2」を起動し、表紙をスキャンし、読み込んでみましょう。認識すると自動でコンテンツが流れます。

SCAN!!

【今月の表紙】 聖福寺 山門 撮影・文/株ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)



聖福寺は臨済宗妙心寺派の寺院です。建久6年(1195年)に將軍源頼朝公よりこの地を賜り、栄西禪師を開山として創建された日本最初の禅寺です。山号を安国山とし、寺号を聖福至仁禅寺と称します。後鳥羽上皇より、日本で最初の禅寺である事を意する「扶桑最初禅窟」の号を賜わり、室町時代には、五山十刹制度の十刹第三位(後に第二位)に序させられました。境内は国の史跡に指定されていて、現存する主要建造物は江戸期に再建されたものです。

# 中小企業が**変われば** 社会は**変わる** *social business*

これからの時代を創るソーシャルビジネス  
ソーシャルビジネス委員会紹介



左から小津智一氏、富山博史氏、吉原勝己氏

ソーシャルビジネス委員会例会の様子



中央が大串和義委員長

## 委員会メンバー

- 委員長**  
大串公認会計士・税理士事務所  
所 長 大串 和義 (南支部)
- 副委員長**  
株式会社OZ Company  
代表取締役 小津 智一 (糸島支部)
- 地方都市型まちづくり部会  
株式会社カンカングループ  
代表取締役副社長 富山 博史 (大牟田支部)
- まちづくりビジネス本部長  
吉原住宅有限会社  
代表取締役 吉原 勝己 (南支部)
- 新副委員長**  
NPO法人発達障がい者就労支援ゆあしっぶ  
理 事 長 桑原由美子 (西支部)
- 有限会社 吉浦ビル  
代表取締役 吉浦 隆紀 (南支部)
- 合同会社H&A brothers  
執行社員 半田 啓祐 (久留米支部)

## 社会に寄り添う 新しい事業

ソーシャルビジネス委員会は2011年に発足し、活動8年目に入りました。自社事業で社会課題を解決することで、地域とともに豊かに生きる企業を目指しています。本委員会は全国でも稀な委員会活動であり、現状のビジネスに社会課題解決事業を組み込むことにより、経営イノベーションを起こし、企業をより強く持続的なものとすることを目的に活動しております。

社会課題を解決できる企業は、市民や社会にとって大切な存在です。だからこそ、売上規模にかかわらず高い利益が出せ、サステイナブル(持続的)で、社会の変化に対応できる経営でなければなりません。また、そのような企業が利益を生み出せば、必然的に社会課題解決への再投資を行います。それが、雇用を生み、経済を動かす、そのインパクトはいずれ大きな社会を動かします。当然、そのような企業は市民の支持を受け、より強くなることでしょう。

## 全国の仲間とともに 継続し合える

残念ながら、社会課題がなくなることはありません。そのため、それをビジネスに結びつける能力を獲得すれば、社会が変化しても新たな事業を生み出すことができます。当然に理念本位の経営であり、同友会企業こそ主役です。しかも同友会だからこそ地域を越えた協働事業も始まります。なぜなら、自分のまちで起こった問題は全国どこかのまちの共通の問題でもあるからです。

こうして、未知の可能性を持ったソーシャルビジネスを私たちの委員会で学び実践し、成功事例を積み重ねる仲間が続々と増えています。まだ確立されていない「日本の中小企業版ソーシャルビジネス経営理論」を一緒に委員会で創り上げていきましょう。

それでは、3名の新副委員長に各社のソーシャルビジネスをご紹介します。

# 01

## ゆあしっぶの取り組み ソーシャルビジネス

NPO法人発達障がい者就労支援ゆあしっぶ  
理事長 桑原 由美子 (西支部)



最近、「発達障がい」についてメディア等でも度々紹介されるようになります。また、そのことにより企業の方からも「発達障がい」に関する質問を受けるようになり、身近なことから受け入れられつつあると感じます。私たち「ゆあしっぶ」は、発達障がい者が社会に参画して企業の戦力となるよう活動しています。

(活動内容は左図のとおりです。)

左図の他に昨年度は、東京大学先端技術研究センターが取り組んでいる「超短時間雇用」の研修会を行いました。発達障がい者の中には、過敏さ等の特性のために長時間働くことが難しい方がいます。この取り組みは障がいのある方のためだけではなく、子育て中の母親や家族の介護で長時間働けない方、高齢者等にとっても必要なのではないかと考えています。少子高齢化の折、働き手が少なくなる中、多様な働き方の一つとして福岡にも導入できればと思っています。

## ゆあしっぶの活動内容

### 1 発達障がい者自身のスキルアップ講座

- ビジネスマナー ● PC
- 清掃 ● 自己理解 等

### 2 発達障がい者自立支援セミナー (理解を広げる活動)

- 月1回専門家を招きセミナーを実施(発達障がいについての理解、関わり方など)
- 当事者・保護者のための集い場(福岡県の事業)

### 3 相談 等

- 当事者 ● 保護者 ● 企業
- 学校関係



# 経営指針書で 自立型企业宣言!

〈自分の言葉で理念作成〉

祖父から急ぎよ継いだ「吉浦ビル」は、天神よりバスで40分離れた築古マンションでした。建物は、6階建（築45年、30戸）と3階建（築42年、10戸）の2棟があります。元々耕作していた農地に祖父が相続対策で賃貸マンションを建てたのが会社の始まりでした。6年前、私とそのマンションを引き継いだ時の状況は、「空室率20%、滞納金1000万、高齢化率50%」で、収益性も落ち、改修するにもためらう程の状態。それから1年後、マンションの再生を決意しました。取り組むにあたりまず考えたのは、一般的な原状回復は行わず、時代と共にニーズが合わなくなった部屋をリノベーションしていくことでした。

郊外にある吉浦ビルでは、流行りデザインのリノベーションでさえ差別化が難しいと考えたため、設備一新を理由に部屋を丸ごとスケルトンへ。その状態で入居募集をかけ、「入居者自らDIYで改修し、好きな間取りの部屋に住める」というコンセプトで入居者募集をしました。この〇（ゼロ）から部屋を作りたいと思う入居者はクリエイター層が多く、今ではマンションの半分である20部屋が、都心から移り住んだ20〜30代で満室となりました。

この5年間の再生の取り組みは、どんな場所や築年数でも、自分にとって魅力と感じれば人は住む場所を変えるということでした。

有限会社吉浦ビル  
代表取締役 吉浦隆紀（南支部）



## 02 事業承継からの Re・イノベーション



## 03 空き家対策につながる 賃貸管理業

合同会社H&A brothers  
執行社員 半田啓祐（久留米支部）



私たち、合同会社H&A brothersは、久留米市内で不動産管理事業、リノベーション事業を行なっています。

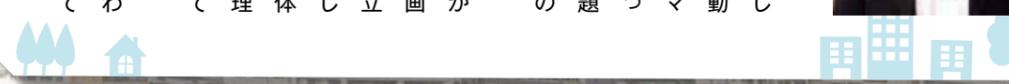
もともと空室対策から始まった不動産管理事業は、現在、人のつながりを生み出すコミュニティマネジメントが軸となり、管理物件では入居者同士のつながり、入居者と近隣住人とのつながり、地域の人のつながりを日々育んでいます。

遊休不動産や老朽物件の再生・活用を通してコミュニティを育てることにより、周辺エリアの活性化に繋げるコミュニティマネジメント型の新しい不動産管理事業に取り組んでいます。

物件周辺エリアへの展開は、同じように久留米市内の他エリアで活動している、さまざまな業種のキーマンたちとつながるきっかけにもなっています。それにより、まちの課題を共有しつつ連携し、ともにまちの未来像を描けるまでになりました。

その一つとして、つながりの中から数名のメンバーで久留米移住計画という移住定住を支援する団体を立ち上げ、継続的な活動を開始しました。そこで市の事業（お試し居住体験等）を受託し、滞在先として管理する物件で移住希望者を受け入れています。

人口減、空家増の社会課題に関わる分野へ事業の取り組みが広がっています。



## 株式会社サンビニール 代表取締役 眞鍋 志郎 氏

東支部



取材 広報部  
文章担当 菅原 弘（東支部）  
写真 眞 富谷 正弘（支海支部）

株式会社サンビニール  
創業 1979年9月  
住所 福岡市早良区野芥3-14-9  
電話 092-871-7188  
従業員数 15名（うちパート12名）  
事業概要 塩ビ製品・ポリ製品・PP製品の製造販売。  
取扱品目 カバー・事務用品・ファイル等

同友会に入会し、すぐに経営指針書を作成してみたものの、なかなか社内に浸透できませんでした。同友会活動が続ける中でターニング・ポイントが訪れたのでした。

### 業界のパイは縮小

「バッグ、腕章、ファスナー付きキーケースなど塩化ビニールの加工や一部プラスチック製品に携わっています」と話し始めたのは、(株)サンビニール代表取締役の眞鍋志郎さんです。昭和54年に父親の良二さんが創立しました。「印刷業者とコラボすることが多い」と話すだけあって工場内では手帳カバー、ブックカバー、見覚えのある預金通帳入れ、テーパーカークのバスカード入れなどがありました。大手印刷会社からテーマをもらい、自社の技術を活かして製品にしていく受注生産がメインの仕事です。

眞鍋さんは昭和41年生まれ、学校を卒業してプラスチック商社に勤め「他人の釜の飯」を食いました。営業を担当して、実家と同じような会社を訪問することもありました。7年ほど勤務し、昭和60年にサンビニールに入社します。「大量生産・大量消費が世の流れで、この頃が一番忙しかったですね」と振り返ります。

平成18年、眞鍋さんは40才で二代目社長に就任しました。父親は工場長としてサポートする側に回りました。同社は紙に付随する仕事が多く、世間がペーパーレスに向かっていく中で、小ロット多品種生産にシフトせざるを得ませんでした。現在では解消してい



品質第一を心がけた丁寧な作業

ますが、塩ビはダイオキシンの発生するとやり玉に挙げられたこともありま  
す。「業界自体のパイは縮小していま  
す」と眞鍋さんは危機感を募らせてい  
ました。

にあふれたただという印象を受けまし  
た。私は人前で話すのが苦手なので、  
コミュニケーション不足を克服できる  
かなと思いい、即入会しました」。平成22  
年のことです。

### 経営理念は作ってみたいけれど

眞鍋さんは危機突破のため、会社が  
一丸となつていかなければならないと  
考えていました。その頃、取引先のエ  
スエス産業(株)の西藤興治さん(東支部  
所属)から同友会に誘われます。「活気

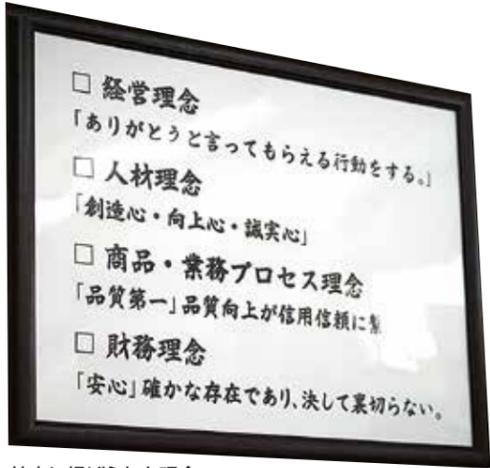
同友会は経営指針書作成が最も特徴  
的な活動だと知り、自身もあすなる塾  
(経営指針作成の入門編・理念の作成)  
を受講しました。グループ討議の際に

「あなたはなぜ働いているのですか。な  
ぜ社長をしているのですか」という問  
いに何も答えられない自分がいました。  
苦しまぎれに「食べていくためですか

## ありがとうと言ってもらえる行動をする そして、『品質第一』を掲げて 品質の向上で信用・信頼に繋げる

そして特筆すべきは『自社製品を開  
発し、加工屋からメーカーへの転身』  
と宣言していることです。自社の強み  
は、モノづくり。それも加工に関する  
幅広い知識を携えていること。塩ビの  
持つ奥深い可能性を追究していきます。  
大手企業との付き合いは、生産量の安  
定やスキル・情報・アイデアを得られ  
るというメリットがある一方で、受け  
身なので価格決定権がなく、納期や支  
払条件など厳しい条件を求められるな  
どのデメリットがあります。

自社商品開発となれば、価格決定権  
を有し、利益の確保が見込まれます。



社内に掲げられた理念

### 社内での変化

社内体制の整備を図るため、コミュ  
ニケーションの強化に努めました。社  
長と工場長のミーティング、スタッ  
プだけのミーティング、営業会議、社長  
とスタッフとの個人面談などを年間ス  
ケジュールに落とし込んで開催するよ  
うにしました。

商品・業務プロセス理念の中には『品

ね」と答えたところ「それなら従業員  
でもできますよね」と返されてしま  
いました。社長としての理念やビジョ  
ンがなかったことを思い知らされたの  
でした。会員の指導や協力を得ながら頭  
の片隅にあるものを理念として何とか  
言葉に表してみました。

「私たちは人の和を大切にします」  
さらに経営指針作成セミナー(2泊  
3日)も受講し、経営指針書も作成しま  
した。「経営指針書を作ってはみたもの  
の、自社に落とし込めませんでした。仕  
事は相変わらず大手企業からの受注生  
産をしています。重要性は十分に認識  
していたのですが」と振り返ります。

眞鍋さんはその誠実さから東支部で  
は役をうけ、副ブロック長、役員研修  
大学担当、ブロック長、そして副支  
部長を務めるようになりました。

同友会の学びをどう自社で実践して  
いくか悩みながら、7年の日々が過ぎ  
ました。

### ターニング・ポイント

そうして迎えた平成29年の東支部7  
月例会、報告者は中島克海さん(株)グ  
ッド・サポート・福友支部所属)です。

中島さんは業績が順調に推移する中  
思わず「テンギ」になってしまい、会社  
(役員から突き上げを食らってしまいピ  
ンチを招きます。そこで改めて理念を

「品質第一」の文字があります。「最近ス  
タッフから『品質第一』というけれどこれ  
でいいでしょうか」と聞いてくるよう  
になりました。以前はなかったこと  
です。小さいことですが進歩といえるの  
ではないでしょうか」と眞鍋さんは目  
を細めます。ミーティングでも自発的  
な発言が出てくるようになりました。

### 自社の目標に向かって

取材の最後に眞鍋さんが考える自立  
型企業についてお伺いしました。

見つけ直すのでした。役に立つことを  
喜び合える『STAFF大歓喜企業』。  
すべての行動はこの『理念』になっ  
ているかが判断基準です。社員の行動  
は直前に起きた九州北部豪雨でも活か  
されました。

眞鍋さんはこの報告に大いに共感を  
得ました。そして続いて行われたグル  
ープ討議。北村陽一郎さん(株)尻尻ガ  
ス)の会社の行動理念「ありがとうと  
言ってもらえる行動をする」に目から  
ウロコが落ちる思いがしました。「じつ  
にわかりやすい！」理念はスタッフ全  
員が理解でき共有できなければいけな  
いと気づいた瞬間でした。

### 経営指針書、再び

「自分の中で蓄積した学びをいま一度  
集結させて改めて経営指針書を作成し  
ようと決意しました。私の7年間の同  
友会活動は無駄ではありませんでした」  
約3カ月を費やして、次のような経営  
理念をつくりました。

「ありがとうと言ってもらえる行動を  
する」

これは十分に眞鍋さん自身の言葉に  
なっていました。また、社内でお客様  
から「ありがとう」の言葉が飛び交え  
ば信頼関係が構築できるとの確信があ  
ります。さらに人材理念、商品・業務プ  
ロセス理念、財務理念を策定しました。

「目標・目的に向かってみんなが取り  
組んで、協力していく会社ではないで  
しょうか。ウチは『メーカー』という  
新たな目標に向かっていま動き出した  
ばかりです」

人材理念の中に『誠実心』という文  
言を見出しました。「常に真面目に人  
と向き合い、人を敬う心を養う」と続  
いています。まさに人間・眞鍋志郎を  
表す言葉です。「私にはこれしか取り柄  
がないんで……」と照れ笑う眞鍋  
さんでした。

取材協力ありがとうございます。



## 福岡フレンドシップフェスティバル2018を終えて 御礼

今年も皆様の多大なるご協力で開催することができました。25回目の福岡フレンドシップフェスティバルは、福岡市民・県民と福岡で活動している支援事業所をもっと知ってもらうために「我々青年支部が架け橋となろう!」と、取り組んでまいりました。

支援事業所の方々との触れ合いを大事にすることを第一に考え、このイベントを行いました。毎年、改善点が出ますが、改善をするたびに少しずつ事業所の方と触れ合えるようになり、事業所の方々からお礼の言葉をいただけるようになりました。そのお礼の言葉を大事に、これからももっともってみんなで意見を出し合い、すばらしいフレンドシップフェスティバルを作り続けたいと思います。

当日は会員さんやご家族の方々をはじめ、多くの来場者に恵まれ、大変充実した日を過ごさせていただきました。参加してくださいました24の支援事業所の皆様、ステージに出演してくださいました皆様、本当にありがとうございました。そして、後援をいただきました、福岡市保健福祉局障がい者障がい者施設支援課様ありがとうございました。

また、各支部の例会にて会務報告をさせていただき、多くの方から前売りチケットをご購入いただきました。誠にありがとう



ございました。我々青年支部は、同友会が目指す「地域にねざす同友会」の活動の一つの形として今後ともフレンドシップフェスティバルを開催していきます。

福岡フレンドシップフェスティバル2018  
実行委員長 藤島修平

## 2017年度 第12回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2018年4月18日(水) 14時30分～17時40分  
会場 福岡県中小企業振興センター 202会議室

出席 51名(出席率83.6%)  
議長 貞池 龍彦(副代表理事)

### 協議事項

#### 1 組織の機能と役割の見直しについて

代表理事より提案された。前回理事会で出た意見をまとめ、正副で議論した内容を反映させた。第56回定期総会にて報告し、2019年4月より実施することとした。

### 報告事項

#### 1 会員企業の動きなど

経営革新計画承認企業  
2018年3月(県102件/うち同友会会員・企業1件)

- (有)渡辺鉄工 阿比留 恭之氏(のおがた支部)  
(テーマ) 仕上げ工程の機械化による作業性改善  
および生産付加価値の向上  
※累計で福岡県全体では5,785件、会員企業は延べ423件

#### 表彰など

公益社団法人日本農業法人協会  
農業経営(体)における女性の積極的な参画表彰  
全国42選

- (株)カラーリングファーム 橋原 憲一氏(りょうちく支部)
- 経営者顕彰財団(理事長:久保田勇夫 西日本シティ銀行会長)  
経営者賞
- 岩田産業グループホールディングス  
会長兼社長 岩田 陽男氏(東支部)

福岡県福祉労働部労働局労働政策課作成  
「働き方改革のためのガイドブック」の企業紹介  
(10社中、5社 会員企業掲載)

- (株)OZ Company 小津 智一氏(糸島支部)  
「全社員がリーダーとなりチームワークを構築」
- 計測検査(株) 坂本 敏弘氏(北九州支部)  
「社員の健康と家族を大切に。『生涯働きたい』風土の醸成を」
- (株)コスモス 渡辺 年紹氏(南支部)  
「定着率も業績も伸ばさせた社員本位の営業スタイル」
- 拓新産業(株) 藤河 次宏氏(南支部)  
「20年前からの職場改善で優秀な人材確保と業績アップ」
- 宮田織物(株) 吉開 ひとみ氏(福友支部)  
「長く働ける環境を整え、ものづくりの技術を伝承」

#### 2 青年支部フレンドシップフェスティバル開催報告

青年支部長よりフレンドシップフェスティバルの開催報告があった。「当日は会員をはじめたくさんの参加があった。また、作業所からもこれまでにないくらいの売上げがあったという声をいただいた。たくさんの方の協力があった盛会となったことをお礼申し上げたい。」

理事会報告  
全文

e.doyuの文書管理(理事会報告-2017年度)に  
アップしています。  
会員の方は全て閲覧できます。



合同入社式 集合写真



合同入社式 講演する有田氏

# 社員と共に育つ、 『人間尊重の企業づくり』を 目指して!!

ようこそフレッシュマン!

経営者も見守り役として、  
討論に参加します



新入社員研修 特別企画「経営者と語ろう」



新入社員研修 32社63名が参加



新入社員研修 グループ討論の様子

2018年4月に新入社員合同入社式と新入社員合宿研修を共同求人委員会主催で執り行いました。

2日(月)に開催された合同入社式では、はじめに田浦代表理事(株)シティーライン)から、「輝かしく豊かな人生にしてほしい」とお祝いの言葉がありました。記念講演では、有田電器情報システム(株)の有田社長から、「失敗は取り戻せるが、時間は取り戻せない」と、失敗を恐れずに挑戦することの大切さを伝えられました。その他にも、辞令交付や、先輩社員からのメッセージ、新入社員による社会人宣言が行われ、42社90名の新入社員が社会人としての一歩を踏み出しました。

5日(木)～6日(金)には、新入社員合宿研修が開催されました。「信頼」をテーマとして、32社63名の新入社員が2日間にわたって、信頼を得るために必要なビジネスマナーやコミュニケーションの基本を学びました。

研修においては、講師から答えを教えるものではなく、グループ討論を通して、自分たちで考え、新入社員に私たちにできることは何かを主体的に考えることが大切にされています。また、特別企画として、経営者から新入社員へ「自身(経営者)が信頼されるために行なっていること」を話す時間もあり、新入社員にとっては、他社の社長が信頼されるために行なっていることを聞くことができる貴重な時間となりました。

研修の最後には、サプライズ企画として、経営者から新入社員へ歓迎の言葉や期待していることなどの激励の言葉が贈られ、涙する新入社員もいるなど感動の時間となりました。

同友会の研修の特徴は「共に育つ」です。新入社員と経営者が同じ時間を過ごし、学んだことを会社で実践することで、「社員と共に育つ」、「人間尊重の企業づくり」をめざしています。

# 第104回 景況調査ダイジェスト (2018年1月～3月期)

## 「底堅さ維持するも、利益DIは2期連続悪化。ますます深刻化する人材不足」

### 調査要領

調査時 2018年3月2日～2018年3月23日  
 対象企業 (一社)福岡県中小企業家同友会 全会員企業2,132社(3月時点)  
 調査の方法 会員専用サイト(一部FAX)にて配信、自計記入、回収

### 回答企業の概要

回答数 358社の回答(回答率16.8%) (製造業47社、建設業61社、商業流通業35社、サービス業215社、不明0社)  
 企業規模 0～10名以下………212社 11名～20名以下…57社 21名～50名以下…44社  
 (従業員数) 51名～100名以下……21社 100名以上………24社 不明………0社  
 企業の所在地 福岡地区 255社 北九州地区 28社 筑豊地区 35社 県南地区 26社 県外 14社 不明 0社

### 概況

景況感DI(2018年1月～3月の状況)は前回の10.3から4.2ポイント悪化して6.1となりました。全てのDIが悪化し、特に利益DIは11.9ポイントのマイナスでプラス域からマイナス域へ悪転しました。次期予想DIは前回の23.2から6.7ポイントの悪化になりましたが、依然として高い数値を示しています。

業種別の動向を見ると、製造業(消費財)と商業・流通業の悪転が目立ちました。最も回答割合の高いサービス業(対事業所)は利益DIが大幅に悪化しプラス域からマイナス域へ悪転しました。しかし次期予想DIは上昇しており、積極的な見解を示しています。

経営上の問題点を業種別に見ると、製造業(生産財・消費財)と商業・流通業では「税負担の圧迫」、建設業(建築・土木・設備)では「協力業者の確保難」、サービス業(対事業所・対個人)では「原料・材料等の高騰」などが共通して挙げられました。

特設項目である「生産性革命の取り組み」では、全体の約7割が取り組みをしていないと回答しました。していると回答した企業の回答内容を見ると、付加価値を高める取り組みや、ITの導入という内容が最も多く見られました。

今回の調査では、全項目が前回よりも悪化しており景況感の冷え込みが懸念されます。次期予想DIは二桁で底堅さを維持していますが、人材不足の課題はますます深刻化しています。魅力ある企業づくりをめざし、採用・共有に繋げていきたいところです。

### 全体的な特徴

項目	第103回	第104回	変動幅
景況感DI	10.3	6.1	4.2%悪化
売上高DI	14.2	7.3	6.9%悪化
利益DI	11.6	-0.3	11.9%悪化
新規受注DI	13.8	8.8	5.0%悪化
次期予想DI	23.2	16.5	6.7%悪化

### 全指標減退、利益DIはマイナス域へ

全項目が減少しました。特に利益DIは大幅に減少し、マイナス域へ悪転しています。次期予想DIは依然として高い数値を示しています。

No.	今期景況判断	業種	本社所在地	そのような結果の理由
1	非常に良い	サ業(対個人)	福岡	事業拡大のため
2	よい	製造業(生産財)	福岡	電子部品業界活況の恩恵
3	よい	建設業(建築)	福岡	福岡市近郊は建物が多くたっているから
4	よい	建設業(建築)	福岡	建設特需の中で選別受注が出来ているからではないかと思えます
5	よい	建設業(設備)	県南	前年より受注が多かった。今年度は普通
6	普通	商業流通業	福岡	為替円高により
7	普通	商業流通業	福岡	法律や規制が強まり、広告を出しにくくなった
8	普通	サ業(対個人)	筑豊	新規取引先が確保出来ていない
9	悪い	サ業(対事業)	福岡	スマホ・AIの普及
10	悪い	サ業(対個人)	筑豊	消費意欲の低下と人口の減少が大きな原因と考えられます。弊社は商店街内に位置しており、人通りが壊滅的な状況のために新規のお客様の来店がありません

### 業種・従業員規模・地域別の特徴

#### 業種別の動向

全体的にプラス域が目立ちますが、製造業(消費財)は前回の好転から悪転し、次期予想DI以外の項目がマイナス域となっています。また、商業・流通業は全ての指標が前回よりマイナス値となっています。建設業(建築・土木・設備)は全体的に高い数値を示していますが土木は減少が目立ちます。サービス業(対事業所)は前回よりもマイナス値が目立ちますが、特に利益DIが大幅に減少し、悪転しています。次期予想DIは上昇しているため今後の動きに注目したいところです。

#### 規模別の動向

全体的にプラス域が多くなっていますが、前回よりも減少している項目が目立ちます。前回好転していた11～20名規模の企業は再度悪転しています。

#### 本社地区別の動向

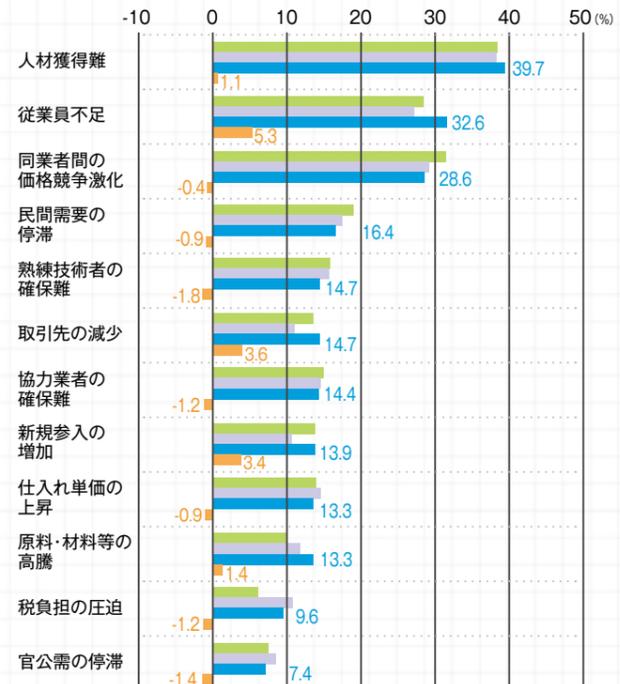
福岡地区と北九州地区及び福岡県外ではプラス域が多くなっていますが、全体的に見ると前回よりもマイナスの値が目立ちます。県南地区のみ次期予想DIがプラス値で高い数値を示しています。

### 経営上の問題点

#### ●依然として人材獲得難がトップの課題に

「人材獲得難」は8期連続で1位となりました。「従業員不足」は5.3ポイント上昇し、人材に関する課題が上位を占めています。「取引先の減少」と「新規参入の増加」も前回より上昇しています。回答した企業は20名以下の規模が多くありました。

■102回割合(429件) ■103回割合(352件) ■104回割合(353件) ■前回からの変動幅



主な項目をグラフにしております

### 業種別の経営上の問題点

問題点自由回答(抜粋) ●新規サービスを提供する余裕がない。それには人材が必要。●一軒当たりの売上高が低い傾向にある。●介護医療新制度改定による収入減。●運送会社の運賃値上げが仕入にも納品にも大きく影響している。●人件費の値上げ。

%	全体	製造業(生産財)	製造業(消費財)	建設業(建築)	建設業(土木)	建設業(設備)	商業・流通業	サービス業(対事業所)	サービス業(対個人)
回答件数	353	22	25	34	8	19	35	127	83
人材獲得難	39.7	36.4	36.0	52.9	37.5	31.6	20.0	40.2	45.8
同業者間の価格競争激化	32.6	36.4	28.0	41.2	37.5	26.3	22.9	31.5	36.1
従業員不足	28.6	27.3	40.0	11.8	0.0	21.1	28.6	37.0	24.1
民間需要の停滞	16.4	22.7	24.0	8.8	25.0	10.5	37.1	13.4	12.0
熟練技術者の確保難	14.7	0.0	24.0	5.9	0.0	5.3	28.6	15.7	15.7
協力業者の確保難	14.7	27.3	20.0	32.4	87.5	21.1	2.9	10.2	6.0
仕入れ単価の上昇	14.4	18.2	0.0	52.9	25.0	31.6	8.6	10.2	6.0
原料・材料等の高騰	13.9	0.0	8.0	11.8	0.0	5.3	5.7	15.7	24.1
取引先の減少	13.3	22.7	40.0	14.7	37.5	15.8	14.3	2.4	15.7
税負担の圧迫	13.3	31.8	24.0	29.4	12.5	10.5	22.9	1.6	13.3
新規参入の増加	9.6	13.6	4.0	0.0	0.0	15.8	14.3	11.8	8.4
官公需の停滞	7.4	9.1	12.0	14.7	37.5	10.5	5.7	6.3	1.2
大企業進出による競争激化	6.2	9.1	4.0	2.9	12.5	15.8	11.4	7.1	1.2
事業資金の借り入れ難	5.9	9.1	12.0	5.9	25.0	5.3	2.9	3.1	7.2
販売先からの値下げ要請	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	8.7	4.8
仕入れ先からの値上げ要請	5.4	9.1	0.0	8.8	12.5	10.5	8.6	4.7	2.4
金利負担の増加	0.8	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.2
輸入品による圧迫	0.3	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.5	4.5	0.0	0.0	0.0	10.5	8.6	11.0	12.0

・各業種別回答数に対するパーセント ・色付きセルは上位5項目

### 生産性革命の取り組み

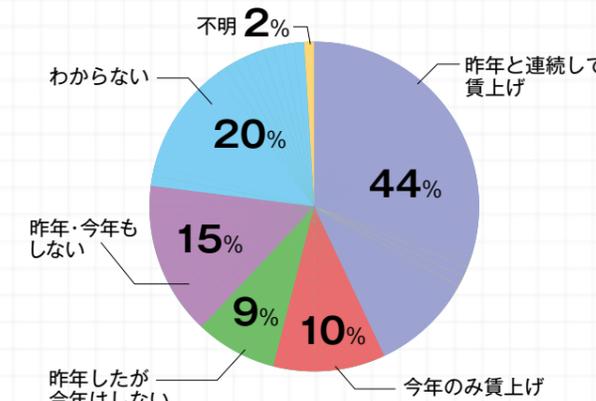
生産性革命については74%が「していない」という回答をしました。新商品・新サービス開発など付加価値を高める取り組みのほか、IT導入に関する回答が多く見られた。

No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	している	81	23.5	22.6
2	していない	264	76.5	73.7
	不明	13		3.6
	サンプル数(%ベース)	358	345.0	100.0

### 賃上げについて

賃上げをすると回答した企業は過半数を超え、昨年と連続して賃上げすると回答した企業が44%でした。

No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	昨年と連続して賃上げ	157	44.7	43.9
2	今年のみ賃上げ	35	10.0	9.8
3	昨年したが今年はしない	33	9.4	9.2
4	昨年・今年もしない	53	15.1	14.8
5	わからない	73	20.8	20.4
	不明	7		2.0
	サンプル数(%ベース)	358	351.0	100.0



### 経営指針の作成と実践

No.	カテゴリ	件数	(除不)%	構成比増減
1	作成し実践している	114	32.2	109 31.1 -1.1
2	作成しているが実践なし	87	24.6	88 25.1 0.5
3	作成に至っていない	136	38.4	139 39.7 1.3
4	作成する必要はない	17	4.8	14 4.0 -0.8
	不明	1		8 0.0
	サンプル数(%ベース)	355	354.0	358 350.0 -4.0

経営指針書の作成と実践について、「実践している」と回答した企業と「作成しているが実践できていない」と回答した企業を比較すると、実践している企業の景況判断は悪い側が少なく、実践できていない企業は悪い側が多くなっています。

### 経営指針書の検証について

No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	50	46.7	45.9
2	毎月ではないが検証している	43	40.2	39.4
3	年に1回は検証している	12	11.2	11.0
4	全く検証していない	2	1.9	1.8
	不明	2		1.8
	サンプルサイズ(n値)	109	107.0	100.0

今回の調査では、「作成し実践している」と回答した企業は減少したが、検証についての調査では定期的に検証した方が年に1回検証するよりも、景況判断が「非常に良い」と回答した企業が多くなっています。

**室長談話**  
**景況感の変わり目か？**  
**このような時だからこそ、**  
**景況調査から自社の課題を**  
**読み解こう。**

# 6月の行事案内

## 7木 18:30~21:00 田川支部 6月例会

**エネルギーシフトで田川が変わる。**  
 ~今なぜ、エネルギーシフトなのか?~  
 ■ **たがわ情報センター** 田川市番田町2-1 ☎0947-49-3220  
 ■ **川畑 義行氏** 一般社団法人福岡県中小企業家同友会 専務理事  
 エネルギーシフトと言っても色んな考え方やアプローチがあると思います。色々な先行事例や、取り組みを聞き、学ぶことによって我々の地域や企業において何が合うのか、何ができるのかを考える機会とし、どんなことが起きても負けない企業、地域づくりの足掛かりになることを目的とします。

## 6月憲章推進月間勉強会

**下町 町工場の挑戦!**  
 ~地域と共に歩む中小企業~  
 ■ **浜野 慶一氏** (東京同友会) 株式会社浜野製作所 代表取締役  
**日時:6月12日(火) 14:30~18:00**  
**会場:福岡県中小企業振興センター202会議室**  
 福岡市博多区吉塚本町9-15 TEL:092-622-0011

メディアからも注目されている株式会社浜野製作所の浜野さんに、墨田区で行政、大学、金融機関、そして小学生から大人まで地域の人々を自然と巻き込み、仕事をつくり人を育て、ものづくりの魅力を発信されている体験を報告していただきます。未来に向けて自社をどう変革させるか、共に考えてみましょう。

## 13水 18:30~22:00 大牟田支部 6月例会

**人間魅力日々向上 (同友会を知る会)**  
 ■ **ホテルニューガイア オームタガーデン** 万葉の間 大牟田市旭町3-3-3 ☎0944-51-1111  
 ■ **金川 俊一氏** 株式会社ビッグロード 代表取締役 東支部  
 同友会は、会員企業のような経営課題を会員同士が共に考え、共に学ぶことで解決し、未来へ向けて成長発展する会社作りを目指し活動しています。経営者の仲間と助け合い、学び合きましょう。まずは「同友会を知る会」にご参加ください。きっと新しい何かを掴めるはずです。

## 15金 18:30~20:40 久留米支部 6月例会

**若者よ、いざ弊社へ!!**  
 ■ **みんくる** 久留米市六ツ門町3-11くるめりあ六ツ門6階 ☎0942-30-9067  
 ■ **高木 慎氏** 高木建設建材株式会社 後継者 久留米支部  
 高齢化している従業員、若い技術者が不足する中で、後継者として帰ってきた高木さん。他社で数年働き、自を見た時に会社はどうあるべきか。今、感じていることを率直にお話しいただきます。若者は会社に何を求め、どうありたいのか。また会社はその要望にどのような形で答え事業を継続していかなければならないのか。各社のさまざまな考えについて意見交換し今後の人材採用に役立ちます。

## 15金 18:30~21:00 のおがた支部 6月例会

**「同友会」と「のおがた支部」を知る会**  
 ■ **ジ・エクセレントガーデン** 直方市頓野4069-9 ☎0949-26-8808  
 ■ **中川 甚広氏** 株式会社ベストプラン 代表取締役 のおがた支部  
 ■ **山口 明子氏** ASAP動物病院 副院長 のおがた支部  
 ■ **安永 浩之氏** やすなが企画有限会社 代表取締役 のおがた支部  
 ■ **森 勇馬氏** 直方駅前法律事務所 弁護士 のおがた支部

「同友会を知る会」を開催することで、会員の皆様には同友会及びのおがた支部について知識を深め、企業づくりに反映していただき、ゲストの皆様には会社及び支部をよく知りご理解いただき、ご入会いただくことを目的とします。

## 18日 18:30~21:00 飯塚支部 6月例会

**飯塚市中小企業振興条例の目的達成にむけて**  
 ~活気ある地域をつくるのは私たち~  
 ■ **飯塚市役所2F多目的ホール** 飯塚市新立岩5-5 ☎0948-22-5500  
 ■ **島中 五恵子氏** 有限会社島中育雛場 代表取締役 飯塚支部  
 ■ **長谷川 司氏** 飯塚市経済部産学振興課 課長  
 本例会では我々、中小企業経営者が地域経済の主役として地域社会から何を求められているのか、この地域を輝かせるためどう行動したらよいのか、飯塚市の産業振興ビジョンを知り、中小企業振興基本条例の目的を達成するため私たちがやるべきことを学びたいと思います。

## 18日 18:00~20:20 福博支部 6月例会

**弁護士・林流 自社拡大の仕方**  
 ■ **アキラ博多** 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-733-1310  
 ■ **林 直輝氏** 輝翔法律事務所 所長 福博支部  
 林支部長が会社を「拡大」できた秘訣は何なのか、また「拡大」によって得られたものは何なのかご報告いただく予定です。会社の「拡大」に繋がる経営とはどんなもので、それに向けてどう行動していくのか、また「拡大」によって何を目標すべきなのか、皆さまと一緒に考えたいと思っています。

## 19火 18:30~21:00 博多支部 6月例会

**今こそ人材採用のチャンス!**  
 ~地域を担う、なくてはならない企業づくり~  
 ■ **ウイズ・ザ・スタイル** 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900  
 ■ **貞池 龍彦氏** 株式会社アピリティ・キュー 代表取締役 中央支部  
 福岡同友会が実施する景況調査の経営上の問題点のトップが人材獲得難、2番目に従業員不足があげられています。雇用情勢を見ると県内の有効求人倍率も1.58と売り手市場が続きます。人口減少、少子高齢社会において、これからは続く重要な経営課題に私たちはどのような取り組みができるか学びます。

## 19火 18:30~21:00 玄海支部 6月例会

**健康と経営**  
 ■ **都久志会館** 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335  
 ■ **中國 由紀子氏** キママクラブ 代表  
 米・大豆・野菜・果物などを生産・加工卸・販売する中國氏。全国各地でお味噌作り・お醤油作り講座も開催、TV・エアコン・電子レンジ・炊飯器などを持たない暮らし、おむつ無し育児も実践されています。健康あつての経営をみんなで実践しましょう。

## 19火 18:30~21:00 北九州支部 6月例会

**全ては笑顔のために**  
 ■ **コムシティ** 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-642-1441  
 ■ **大野 仁氏** 株式会社大野 代表取締役 ひびき支部  
 経営指針書・計画書の使い方の1つを学びます。

## 21木 18:30~21:00 西支部 6月例会

**経営指針でガッチリ!** ~同友会が使わぬ損~  
 ■ **福岡ビル** 福岡市中央区天神1-11-17 ☎092-716-8021  
 ■ **小柳 博隆氏** 株式会社福岡植木 専務取締役 西支部  
 はじめて経営の奥深さと厳しさを実感した小柳氏は、「指針書の作成及び実践」社内勉強会に取り組みます。その成果をお話しいただき、経営指針書の構造と、信念と理念がいかに大事でイメージを上書きしていくか、同友会の活かし方についてお話いただきます!

## 21木 18:30~21:00 中央支部 6月例会

■ **西鉄イン2階** 福岡市中央区天神1-16-1 ☎092-712-5858  
 ■ **新内 一秋氏** 株式会社筑紫工業 代表取締役 南支部

## 21木 18:30~21:00 ひびき支部 6月例会

**市場が縮小していく環境の中での自社の変化**  
 ~同友会の学びを社員と共に~  
 ■ **コムシティ** 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360  
 ■ **秋好 哲英氏** KOHO株式会社 代表取締役社長 ひびき支部

## 21木 18:30~21:00 有明支部 6月例会

**経営計画Part2 マクレガー、XY**  
 ■ **しげちゃん会議室** 柳川市三橋町下町30-2 田中ビル 1F ☎0944-72-7722  
 ■ **林田 浩暢氏** 合資会社若竹屋酒造場 社長 りょうちく支部  
 今回は前回に引き続き「経営計画の立て方」第2弾として報告させていただきます。特に組織構築の視点から社会心理学者ダグラス・マクレガーの理論を参考に、人を動かすために経営者が知っておかなければならないこと、そして実行しなければならないことについて報告させていただきます。

## 21木 18:30~21:00 りょうちく支部 6月例会

**地元復興のために必要なことは**  
 (フォーラム分科会報告プレ報告)  
 ■ **筑後川温泉 温泉旅館ふくせんか** うきは市浮羽町古川1099-8 ☎0943-77-3131  
 ■ **馬場 亮次氏** 馬場クリーニング 代表者 りょうちく支部  
 日田市の山間部でクリーニング業を営まれている馬場氏は昨年7月の九州北部豪雨で被災され、お店は浸水を免れましたが、地域は大きな被害を被りました。現在馬場氏は復興に注力され、お店の運営は社員さんに任されています。被災体験より感じられたことをお話いただきます。

## 福岡地区例会グループ長研修会

**6月22日(金) 18:00~21:10**  
 ■ **福岡県中小企業振興センター2階** 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011  
 ■ **田浦 通氏** 株式会社シティーライン 代表取締役 かすや支部

福岡地区会では、2018年度活動方針に基づき、その支部例会づくりの強化として、「グループ長研修会」を開催いたします。通常の支部例会のように、体験報告とグループ討論を実施し、その中でグループ討論の進め方、論議の内容などを振り返りながら、よりよいグループ討論とグループ長の役割・進行の仕方などを学びます。

※東支部、南支部、筑紫支部、福友支部、青年支部、かすや支部、糸島支部の6月例会は、6月22日(金)の「福岡地区例会グループ長研修会」に振替となります。

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。

## 2018年度 事業承継塾 第1講

**事業承継計画書の作成 ~100年企業の承継と事業変遷~**  
**6月23日(土) 14:00~17:00**  
 ■ **電気ビル共創館3F** 福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎092-714-5743  
 ■ **中村 高明氏** 株式会社紀之国屋 会長 のおがた支部  
 ■ **納富 誠一氏** 有限会社一柳 代表取締役社長  
 昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があります。■ 受講料:2,000円

## 26火 18:30~21:30 国際交流委員会 6月委員会

■ **NBS会議室** 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833  
 ※6月国際交流委員会は委員会のみ開催の予定です

## 26火 18:30~21:00 FAST6月例会

**販路開拓(仮)**  
 ■ **福岡県中小企業振興センター301** 福岡市博多区吉塚本町9-15 振興センター3F ☎092-686-1234  
 ■ **吉井 栄子氏** 有限会社在宅介護お世話宅配 代表取締役

## 経営指針作成 日帰り2daysセミナー

**6月25日(月)・26日(火) 各日9:00~16:00**  
 ■ **福岡同友会会議室** 福岡市博多区吉塚本町9-15-11階 ☎092-686-1234  
 本セミナーは、2泊3日セミナーへの参加が難しい会員の方々に対し、少しでも経営指針文化の助けになるようにと企画されたものです。  
 ■ **参加費:**2万円 定員:20名  
 ■ **参加資格:**あすなる塾受講済であること(同友会会員)「粗利(売上総利益)」、「経常利益」の意味がわかる方  
 ■ **申込締切:**6月10日  
 ■ **各日18時まで**自習時間を設けます。  
 ■ **お申込み・お問い合わせは** TEL 092-686-1234 もしくはメール r\_morimoto@fukuoka.doyu.jp (同友会事務局 森元)まで

## 第147回 新会員フォローアップセミナー

**6月28日(木) 18:00~21:00**  
 福岡同友会事務局 福岡市博多区吉塚本町9-15 -11F



## 株式会社シティーライン『成長認定式』

### 成長認定式に参加して

4月14日(土)、株式会社シティーラインさんの成長認定式に参加させていただきました。昨年、福岡県内の特別支援学校を卒業された障がい者の方2名が主役です。お二人の保護者の方々や、特別支援学校の先生たちの参加もありました。田浦社長より、創業の理念や経営理念の説明の後、ビデオ上映や恒例の寸劇等もあり、大盛況に行われました。学生時代からお二人をよく知っている先生たちと話す中、卒業して1年間でここまで成長した姿に感激しながら、人が成長していく社風を感じ取ることができました。次期はこのお二人が先輩社員となり後輩を迎える立場となります。さらに成長していく姿を楽しみにします。

株式会社まきもと 向日葵グループ 牧本 貴宏  
(バリアフリー委員長/博多支部)



式典後の記念撮影

### 成長認定式の様子

#### 取締役統括部長 木原 教孝氏(東支部)より主旨説明

「人はなぜ仕事をするのでしょうか。それは幸せになるためです。そのために欠かせないものがあります。それは自分自身の努力、家族・先生・友人、そして職場とその仲間たちです。今日は2人の成長を祝福する場をご用意させていただきました」

#### 代表取締役 田浦 通氏(福岡同友会代表理事・かすや支部)

「35年前『一度きりの人生を懸けても惜しくない企業づくり』を創業理念とし起業しました。そして『成長を図り顧客に役立ち豊かな人生を実現しましょう』を経営理念としています。毎年、経営計画書を社員とともに作成し、理念・ビジョン、そして待遇や教育制度について明確にして、進んでおります。2人の成長を祝うとともに今後のますますの活躍に期待します」

#### 田浦社長より高石・阪口両名に『認定証明書』が授与されました。

それぞれに先輩社員からお祝いの言葉が贈られ、感謝と決意の言葉が続きます。

高石さん：一つひとつ成長していくことを意識していきます。

阪口さん：任されていることを誇りにがんばっていきます。

#### 式には家族や特別支援学校の先生、同友会会員も祝福に参加しました。

33期生(1年先輩)のお祝いの言葉や35期生(今年度入社)が紹介されました。懇親会では、成長の記録ビデオが上映され、参加者の感動の涙を誘いました。

### 田浦社長にインタビュー!!

「じつは、3年前の新入社員が入社3カ月でそろって辞めていきました。ショックでしたね。いま考えるところ繁忙期で即、現場で働かせていたのです。やはり研修などを経て育てていかなければいけないと痛感しました。幸せになるため、社会に貢献するために、社員が成長していることを認め、期待していることを表したいという思いで、昨年から開催しました」

文 菅原海事事務所 菅原 弘(東支部)  
写真 株式会社コスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)



木原 教孝さん



田浦 通さん



認定書を受け取る  
阪口さん



認定書を受け取った  
高石さん



先輩から成長した様子が報告されました

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会  
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号  
福岡県中小企業振興センタービル11階  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター  
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル 808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター  
〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索